



目に  
でる、ほんき。

やる気があるときや、何かと戦う意識があるとき、交感神経の働きが高まる。交感神経は瞳孔散大筋を収縮させるため、このとき瞳孔が開く。そのため、目的達成に向かって必死に努力している人は、カツと目を見開き、獲物を狙う肉食動物のように、厳しい目つきになる。ほんきは、目を見ればわかる。その目をカワキタで、より強く。



河北総合病院のイトコロを3つあげてください。

- ① 研修医が主担当医として働くことができ、楽しく日々成長できるところ
- ② 病院のスタッフ(指導医、看護師、薬剤師、PT、栄養士など)がみんな優しく、患者さんのためにチームで働いているところ
- ③ 研修医同士の仲が良く、研修医だけが使える研修医室で、励ましい、わからないことは教えあえるところ。



どんな医師になりたいですか。

いわゆるジェネラリストを目指しています。よくある疾患を診断、治療でき、稀な疾患に対しては専門の先生へとしっかりと相談するという基本ができる医師になりたいです。また河北総合病院は、家庭医療という分野が強みでもあります。そういう存在にも興味を持っています。開業医と基幹病院の連携などを学んでいきたいです。



なぜ河北総合病院を選んだのですか？

多くの症例を経験でき、初期研修医が主体的に診療に当たることができると思ったからです。救急科を見学した際に、初期研修医が多く当たることがあり、その患者さんは必要な検査や治療、その後の方針を1人で考え抜いた上で、指導医の先生と話し合い、フィードバックを受けているのを見たときにしました。救急車の数が多い中でも、指導医の先生による熱心な指導もあり、質を落とすことなく、実践的かつ充実した研修生活を送ることができます。また医師だけでなく、コミュニケーション力の方々も含めて、初期研修医をサポートしていく姿勢を感じ、病院全体の雰囲気の良さに魅力を感じました。

## ✓ 初期臨床研修は河北総合病院で

当院の標語の中に「小学5年生」というものがあります。一見すると「ん？」となります。これにはもちろんちゃんと意味があります。その意味とは「小学校5年生が理解できるくらい、わかりやすく伝えましょう」ということです。患者さんに難解な医学用語を使って説明する医師もいますが、それでは不安が増長するだけのこともあります、「病院に行く」というだけで不安になる方もあります。それを会話の中で取り除くことも、医療従事者の仕事です。